

入選

笑顔になるおまじない 私の「あいさつ」

神奈川県 堀川小学校

6年 井波紗南

みなさんは、「あいさつ」をしたことはありますか？私はあいさつをすることが大好きです。でも、あいさつの大切さを知るまでは、できませんでした。

低学年のころ、私が学校に行くときにいつもスクールガードさんが立っていました。でも私は、あいさつをされても下を向いてばかり、あまり顔を見られませんでした。ある日、スクールガードさんのあいさつをする表情が見たくなり、顔を上げると、そこにはすてきな表情と言葉が待っていました。

「おはようございます。」

明るい笑顔に元気があたたかい言葉。私はそれを感じて、心がふわっとして笑顔がこぼれてしまいました。私が笑顔であいさつをすると、相手が笑顔になる「おまじない」を私はとても気に入りました。はじめは相手があいさつをしても、何もできませんでした。少しずつ笑顔であいさつを返すことができ、自分からあいさつをすることもできました。友達や先生だけでなく、すれちがった人にあいさつできたときは、とてもうれしかったです。

でも私は、少し気になることがありました。それは、「私があいさつをしても、相手が返してくれないこと」です。私があいさつをすると、多くの人が返してくれますが、その中にはやはり、返すことができない人もいました。

「いそがしいのかもしれない。」「聞こえていないのかもしれない。」

と、よく自分に言い聞かせていましたが、

「あいさつって、めいわくなものなんだ。」

と思いこむようになってしまいました。そう思い始めてから、私の大切な「自信」と「おまじない」が消えかけていくのをうっすらと感じました。

あいさつの大切さを再び忘れてから少したったとき、すれちがった人にひさしぶりにあいさつをしたくなりました。私は笑顔で、「こんにちは！」と声をかけました。すると、相手が笑顔で「こんにちは。」と返してくれました。私はそのとき、風がかけぬけていくようにスッキリしました。

「やっぱり私、あいさつのおまじないをかけたい！」

と、強い感情が芽ばえました。

あいさつは、笑顔になれるおまじない。でも、立派な親切です。その思いは忘れられません。この小さなおまじないは、たくさんの人を笑顔にします。